

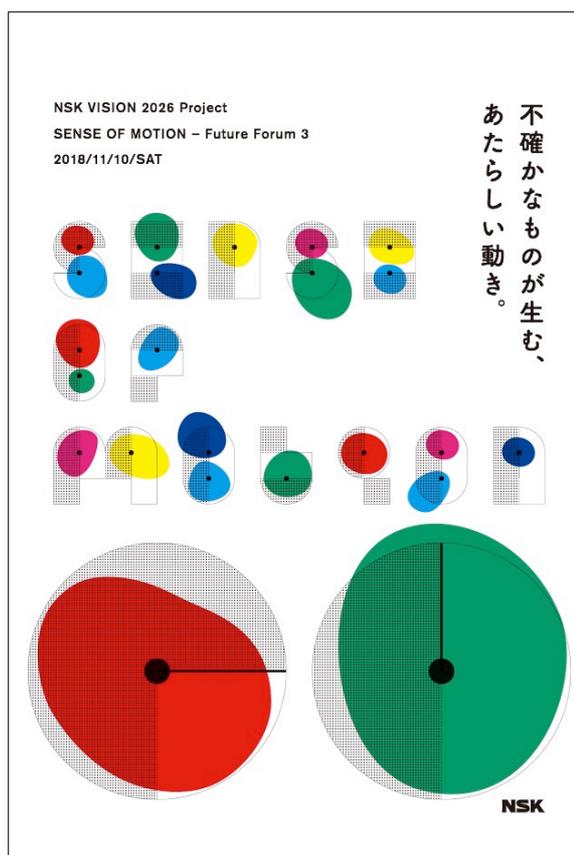
「NSK Future Forum 3 不確かなものが生む、あたらしい動き。」を開催
 デザインとテクノロジーの境界で活躍するジョン・マエダ氏と
 生物学者の福岡 伸一氏が基調講演、
 アーティストの荒牧 悠氏、市原 えつこ氏、和田 永氏らが
 ディスカッションに登壇

日本精工株式会社（NSK）は、「NSK VISION 2026 Project : SENSE OF MOTION – Future Forum 3」（以下：NSK Future Forum 3）を2018年11月10日（土）に、スパイラルホール（スパイラル3F）で開催いたします。

今回で3回目を迎える「NSK Future Forum」は、動きを円滑にする部品、ベアリングを中心に製造してきたグローバル企業NSKが、2016年の創立100周年を機に、2026年までの10年間にあらたな発想で未来の社会を革新していく人々を応援し、育み、ネットワークしていくプラットフォームの形成を目指し実施しているプログラムです。

本年の「NSK Future Forum 3」のテーマは、「不確かなものが生む、あたらしい動き。」私たちの世界は、不確かさに満ち溢れているがゆえに思考や実験を繰り返しながら確実性を追求しますが、その精密性を求めれば求めるほどに不確かで未知なるものに遭遇する場合があります。本フォーラムでは、そんな不安定でゆらいでいる状態の事象の中に新たな感覚を呼び覚ますヒントがあるのではないかと仮定し、デザインとテクノロジーの境界で活躍し続けているジョン・マエダ氏と生物学者でベストセラー『生物と無生物のあいだ』の著者である福岡伸一氏が基調講演を行ないます。さらに、本フォーラム後半には、若手アーティストとして活躍する荒牧悠氏、市原えつこ氏、和田永氏ら3名ががNSK社員との交流を経て生まれたアイデアをもとにディスカッションをします。

2018年10月10日（水）より「NSK Future Forum」公式サイト（senseofmotion.net）にて、本フォーラムの参加申込を開始します。



【開催概要】

タイトル	NSK VISION 2026 Project : SENSE OF MOTION – Future Forum 3 不確かなものが生む、あたらしい動き。—決め切らない発想から生まれるクリエイティビティ
日時	2018年11月10日（土）15:00~18:40（14:15開場）
会場	スパイラルホール（スパイラル3F） 東京都港区南青山5-6-23
参加費	無料（要事前申込）
申込方法	公式サイトにて2018年10月10日（水）より申込受付開始 ※定員250名
公式サイト	senseofmotion.net
問い合わせ	03-3498-1171（スパイラル代表）
主催	日本精工株式会社
プロデューサー	紫牟田伸子、企画制作：スパイラル/株式会社ワコールアートセンター
アートディレクション	菊地敦己

当日のプログラム

総合司会：中谷日出

■第1部

基調講演 A ジョン・マエダ (Automattic Global Head of Computational Design + Inclusion)

基調講演 B 福岡伸一 (生物学者、青山学院大学教授)

■第2部

ディスカッション A ジョン・マエダ、福岡伸一

ディスカッション B 荒牧悠 (アーティスト)、市原えつこ (メディアアーティスト)、

和田永 (アーティスト、ミュージシャン)、

ファシリテーター：紫牟田伸子 (SENSE OF MOTION プロデューサー)

NSK VISION 2026 Project “SENSE OF MOTION” Future Forum とは

NSK は、創立 100 周年を機に 2016 年に様々なあたらしい取り組みを展開する NSK ビジョン 2026 「あたらしい動きをつくる。」を策定しました。「NSK VISION 2026 Project “SENSE OF MOTION”」は、NSK ビジョン 2026 を具現化するプロジェクトとして、あたらしい動きを皆で共有し、社会のあたらしい動きと NSK とをつないでいくプログラムです。2016 年には、NSK100 周年記念展示イベント“SENSE OF MOTION”と題し、アーティストが NSK の技術を利用して制作した作品を発表する展覧会をスパイラルガーデン (東京・南青山) で開催しました。同時に、世界中の「あたらしい動きをつくる人々」をつなぎ、これからの社会と未来のあり方を考えていく「Future Forum」の第 1 回目を実施しました。本フォーラムは、世界中の「あたらしい動きを作る人々」をつなぎ、これからの社会と未来のあり方を考えていく機会として、2026 年まで開催していきます。

NSK Future Forum (2016 年 11 月 12 日開催)

総合司会：中谷日出

基調講演 1：為末大

基調講演 2：Tim Geurtjens

トーク 1：川田十夢、座二郎

トーク 2：山中俊治、栗栖良依、林千晶

トーク 3：真鍋大度、高橋智隆

トーク 4：スブツニ子！、若林恵、猪子寿之

NSK Future Forum 2 (2017 年 11 月 12 日開催)

総合司会：中谷日出

基調講演：池上高志

トーク 1：落合陽一、田川欣哉、福原志保

トーク 2：柴田文江、玉城絵美、遠藤謙

日本精工株式会社 (NSK) とベアリングについて

NSK は、1916 年の創立以来、ベアリングをはじめとするさまざまな「動き」を円滑にする部品を製造しているグローバル企業です。ベアリングの基本原理は、紀元前のアッシリアにて巨大建築を建造するために大きな石を動かす構造として石の下に木材を置いて転がしたことにみられます。驚くほど現在のベアリングに近い基本構造を考えたのは、レオナルド・ダ・ヴィンチです。そして産業革命以降、機械の発展とともにベアリングは「動きをスムーズにする部品」として、現在では、風力発電、自動車、飛行機、建設機械などから、医療器具、玩具まで、社会のあらゆる場面で使われています。NSK は、1916 年、初の国産ベアリングの生産に成功し、100 年におよぶ歴史の中で、ベアリングや自動車部品、精密機器製品などを開発・生産し、世界中の産業の発展を支えてきました。企業理念に示している“MOTION & CONTROL™”を事業活動の基盤とし、あらゆる産業の発展、円滑で安全な社会に貢献し地球環境の保全をめざしています。今後も、部品メーカーの枠にとどまることなく、革新的なアイデアを具現化していきます。